

自社農園でこころを育む保育園 (株式会社アンジェリカ農園)

＜法人の概要＞

所在地：埼玉県日高市

設立：平成25年9月24日

資本金：10万円 売上高：1,500万円（平成26年）

構成員（議決権）：農業従事者1名（100%）

役員：1名（うち農業従事者1名）

従業員数：常時雇用者1名、臨時雇用者5名

経営面積：2.8ha（うち所有0.2ha）

作付作物：野菜2.6ha、米15a



事務所 外観



園児が書いた農園の看板とハウス

＜営農を開始するまでの状況＞

・元々は、東京都内で現在11園を経営する保育園である（株）アンジェリカが、教育目標である「こころの育み」を達成するため、「食」というものが生産・配達・調理を行う様々な人の努力で成り立っていること（食の連続性）を、自社農園で採れた野菜を給食に取り入れること等により、目に見える形で子どもに理解させ、農業を通じて豊かな人間性を育むこと（農業を通じた教育＝農育）を念頭に、平成22年にリース方式により農業に参入した。

・農地については、当社社長の出身県であり土地勘もある埼玉県にまず農業参入したい旨を相談したところ、県を通じて日高市から遊休農地の紹介を受け、県公社を介して借り受けることができた。

・東北から来てもらった経験豊富な農業者を農場長として雇用し、作物の決定を一任した。

・設備については、パイプハウスや中古のトラクターを自己資金のみで導入した。

・苦労した点としては、農場長は埼玉県に来たばかりであったため、日高市のことは何も分からず、知り合いもない中で一から試行錯誤しながら営農を開始することになったことである。

・平成25年に農業部門を独立させ、別法人（農業生産法人）として（株）アンジェリカ農園を設立し、農地を借換え（一部取得）、農業経営を行っている。

＜特徴的な取組＞

- ・収穫した野菜については、基本的に自社保育園の給食用に使用している。農園から保育園に週3回行っている食材配達のうち1回は、農場長が自ら行き、子ども達にその場で見せて食材の説明を行っている。
- ・受けた支援としては、日高市から継続的に農地の紹介を受けているほか、県川越農林振興センターから農業技術に関わる相談や各種セミナー等の情報をいただいている。
- ・苦労した点としては、周辺は非農家が多い地域であったため、農業者等と接点がとれず、営農上必要な情報が入手しにくかったことである。
- ・農育の取組の一つとして、保護者と子どもによるバケツ稲栽培、案山子立て、稲刈り、足踏み脱穀、もみすり、餅つき体験を行っている他、1泊2日のお泊まり保育や月1回の保育園職員による農作業体験を行っており、いずれも好評である。
- ・加工や新たな販路開拓等の取組としては、ブルーベリーやいちごのジャム等の特産品を作り、保護者限定販売の商品としている。

＜企業の農業参入を進めようとしている法人へのアドバイス＞

- ・農業参入に際しては、農地があればどこでも良いわけではなく、アクセスや接道、施設の強度など何かあった時に備えて準備した方が良いです。また、近隣との相互扶助に努める事も重要です。



畑



パイプハウスと機械